

完了後の評価個表

整理番号	17
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	滋賀県
地域（地区）名	湖南 <small>こなん</small>	事業実施主体	県、市町、森林組合等
関係市町村	大津市ほか10市町 <small>おおつし</small>	管理主体	県、市町、森林組合等
事業実施期間	H23年度～H29年度（7年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>本地区は、京阪神方面への通勤圏内である県南部に位置し、地区の南西部から中央部にかけては住宅開発を中心とした市街地開発が著しい地域である。地区内の森林面積は96千ha（森林率48%）、事業の対象である民有林面積は89千ha、そのうち人工林面積が38千haとなっている。</p> <p>本地区の森林は、水源涵養機能や土壌保全機能に加え、都市化の進展に伴い、景観や森林とのふれあいなど保健・レクリエーション機能等の公益的機能を高度に発揮させることが求められている。</p> <p>しかしながら、森林・林業を取り巻く状況は、林業従事者の減少・高齢化や野生鳥獣被害の発生など厳しい環境下にあり、手入れ不足の森林の増加により、森林の有する公益的機能が十分に発揮されず、県民の暮らしに影響をもたらすことが懸念されている。</p> <p>その一方、本地区の人工林の約7割は伐期を迎えており森林資源が充実するとともに、近年、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組が重要となっていることから、再生可能な地域資源として木材を活用していくことの重要性が高まっている。また、地球温暖化防止のための二酸化炭素の吸収源としても、森林に対する県民の期待は大きい。</p> <p>このため、本県では「琵琶湖森林づくり条例」を平成16年3月に制定し、利用期を迎えた森林資源の活用、頻発する気象災害に対応した森林整備、地域資源の有効活用による農山村の活性化、県産材の一層の利用促進などの新たな課題への対応を図りつつ、緑豊かな森林を守り育てる取組を進めている。</p> <p>本事業は、本条例を踏まえ、森林の有する公益的機能を発揮させるために必要となる森林整備と併せて、これらの効率的な実施及び木材等生産機能の維持増進を図るために必要な路網整備を一体的に実施したものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 森林整備 6,500ha <ul style="list-style-type: none"> 人工造林、下刈り、除伐、間伐等 路網整備 1,380m <ul style="list-style-type: none"> 林道開設 ・ 総事業費 1,867,850千円（税抜き 1,750,639千円） （平成22年度の評価時点 2,780,000千円）
----------	--

<p>① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化</p>	<p>令和5年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価時点との差異については、労務単価、資材価格の上昇や優先度の高い箇所から実行したことに伴う路網整備の追加等の事業費の変動や費用便益分析で使用する単価の変化等によるものである。</p> <p>総便益 (B) 59,801,911 千円 (平成 22 年度の評価時点 13,212,247 千円※)</p> <p>総費用 (C) 10,130,500 千円 (平成 22 年度の評価時点 6,504,217 千円※)</p> <p>分析結果 (B/C) 5.90 (平成 22 年度の評価時点 2.03※)</p>
<p>② 事業効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽や間伐等により 6,500ha の森林が整備され、水源涵養や山地保全等といった森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。また、森林経営計画が策定され計画的な森林施業が図られるとともに、施業の集約化と路網、高性能林業機械を組み合わせた効率的な施業が行われ、木材が安定的に供給された。 ・林道および林業専用道の開設により、整備の行き届いていない森林において施業が実施され、森林の有する多面的機能の維持増進が図られた。 ・森林整備及び路網整備により雇用の場が提供され、地域経済の振興に貢献した。
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、森林経営計画等に基づき継続して適切に管理されている。 ・整備された路網は、適切に維持・管理されている。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備の実施により健全な森林が育成され、水源涵養や山地保全、木材の安定供給といった森林の有する多面的機能が発揮されている。
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国での搬出間伐の推進により国産木材の大量供給が可能となったことから、近隣府県の製材工場での国産材の取扱量が増大した。これら工場との原木供給に関する協定が本県においても締結されており、安定的、計画的な木材供給体制が確立されている (本県の H29 素材生産量 88 千 m³ → R4 素材生産量 99 千 m³)。
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業により植栽や間伐等の森林整備が推進され健全な森林の育成が図られた一方、本地区の森林は約 7 割が伐期を迎えており、主伐による資源の活用と同時に計画的な再造林を進め、将来にわたっての木材の安定的な供給を実現し、地域経済の振興に貢献していく必要がある。 <p>地元の意見：</p> <p>(滋賀県)</p> <p>森林整備事業の実施により公益的機能の維持増進が図られ、また搬出間伐の実施により近隣府県を含む林業、木材産業、地域経済の振興に貢献した。</p> <p>本県の課題である主伐・再造林の推進は、先に述べられている木材供給や林業・木材産業の振興はもとより、大都市圏に隣接する本県においては今や国民病ともいえる花粉発生源対策としても重要な課題である。</p> <p>今後も適切なゾーニングと少花粉苗木の安定供給、人材育成、木材需要の拡大等に取り組み人工林の更新及び樹種転換をより一層図っていく必要がある。</p>

評価結果	<p>必要性： 近畿の水がめである琵琶湖を有する本県においては、森林を適切に管理し森林の有する公益的機能の維持増進を図ることは非常に重要である。また、路網の整備により木材の搬出が促進されており、本事業の地域経済や林業・木材産業の振興に果たす役割は大きく、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 森林経営計画が策定され計画的な森林施業が図られるとともに、路網整備、森林施業の集約化・機械化等を通じた効率的な森林整備が推進されており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 適切な森林整備の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られ、地域経済や林業・木材産業に貢献していることから、事業の有効性が認められる。</p>
------	--

※平成 22 年度評価時点における数値について、消費税を含んだ数値である。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：滋賀県

地域(地区)名：湖南地区




(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	17,457,880	
	流域貯水便益	4,006,799	
	水質浄化便益	15,930,815	
山地保全便益	土砂流出防止便益	16,707,533	
環境保全便益	炭素固定便益	2,369,560	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	2,942,217	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	4,443	
	森林整備促進便益	382,664	
総 便 益 (B)		59,801,911	
総 費 用 (C)		10,130,500	
費用便益比	$B \div C = \frac{59,801,911}{10,130,500} = 5.90$		

森林環境保全整備事業 湖南地域(滋賀県) 概要図



凡例

-  計画区域、事業区域
-  森林整備
-  路網整備

